

ピープルカウント機能 操作マニュアル

※ 使用機種によって検知エリア数に違いがございます。詳しくは仕様書をご確認ください。




5.12 人のカウントの設定

人のカウント（エリア内への入数、出数、滞在数を含む）、待ちカウントの設定。
カウントデータをレポート形式で表示ができます。

5.12.1 人数カウントの設定

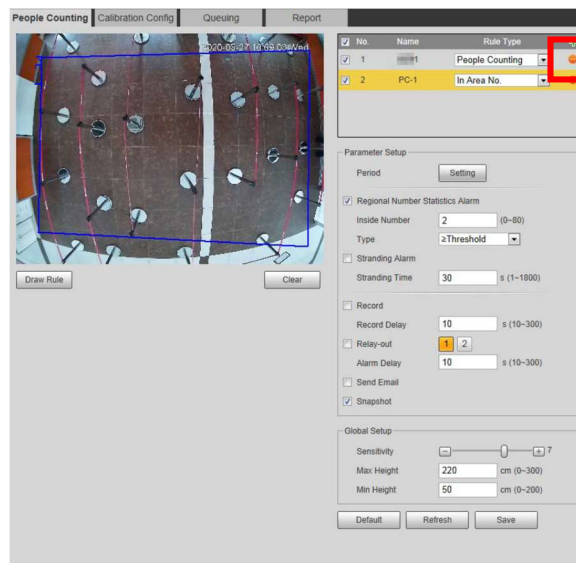
検出エリアに入数と出数をカウントします。カウントされた人の数が設定された値を超えると、アラーム連動を行います。

前提条件

[Setting] - [Event] - [SmartPlan] を選択し、[PeopleCounting]  を有効にします。

手順

Step1 [Setting]>[Event]>[PeopleCounting]で人数カウントを選択します。



Step2 +をクリックして、人数カウント機能を追加します。

Step3 Name をダブルクリックして、任意のルール名に変更します。[People Counting] または [In Area No.] を選択します。

設定した値を超えるとアラーム連動を行います。

- ・ People Counting：検知エリアに入出する人をカウントします。

EnterNO：検知エリアに入るカウント数

LeaveNO：検知エリアから出るカウント数

StandedNO：検知エリアに滞在しているカウント数

- ・ In Area No： 検知エリアにいる人とその滞在時間をカウントします。

Regional Number Statistics Alarm：検知エリアに滞在しているカウント数

Stranding Alarm：検知エリアに滞在している時間

Step4 [Draw Area][Draw Rule]をクリックして、画像内に検知エリアを描きます。

・ People Counting を設定する場合は、方向線を描く必要があります。ターゲットが方向線に沿って出入りするとカウントされます。複数のカウントルールに対応している機種では、異なる検出エリアを重ねることができます。

Step5 パラメータを設定します。

パラメータの説明

OSD	「OSD」の「Enter No.」または「Leave No.」チェックボックスを選択すると、画像に人数カウントデータが表示されます。Clear をクリックすると、カウントがクリアされます。
Flowrate Alarm	(Enter No.、Leave No.、Stranded No.を設定して、設定した値に達するとアラームが作動します。
Regional People Number Statistics Alarm	人数カウントエリアの人数がしきい値に達したとき、滞在時間が設定した値を超えたりすると、アラームが作動します。人数を0に設定しタイプを \geq Thresholdに選択した場合、アラーム連動を行いません。また、しきい値以上を選択した場合はアラーム連動を行いません。
Stranding Alarm	チェックボックスを選択して、滞在時間を設定します。滞在時間が設定された値を超えると、アラームが発生します。
Sensitivity	アラームを作動させる感度を設定します。感度が高ければ高いほど、アラームが作動しやすくなります。
Max Height	検知エリア内の検出する人の最大身長を設定します。単位は cm です。範囲は 0~300 です。
Min Height	検知エリア内の検出する人の最低身長を設定します。単位は cm です。範囲は 0~200 です。

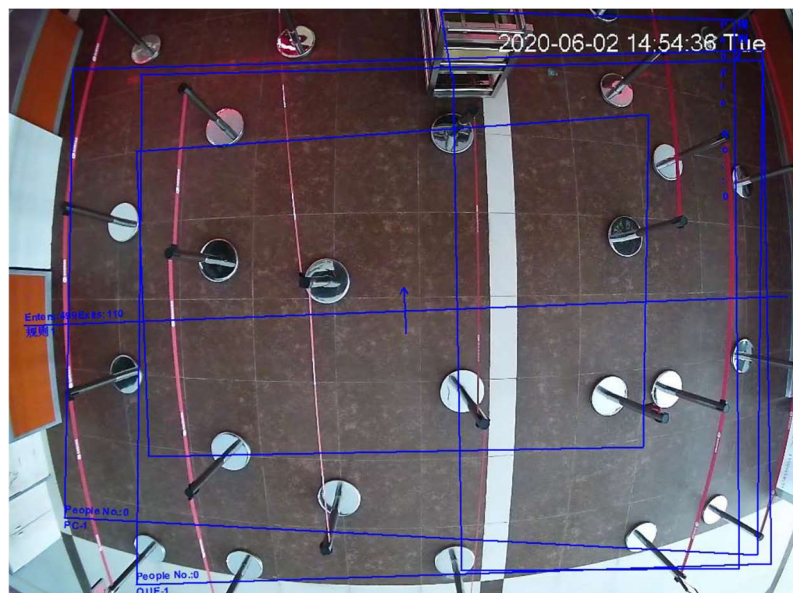
Step6 反応スケジュール(Period)とアラーム連動動作を設定します。

Step7 「Save」をクリックします。

結果

ライブインターフェースでカウント結果を表示できます。

- ・ People Counting ルールでは、入室数と退室数が表示されます。
- ・ In Area No. ルールでは、エリア内人数が表示されます



5.12.2 キャリブレーションの設定

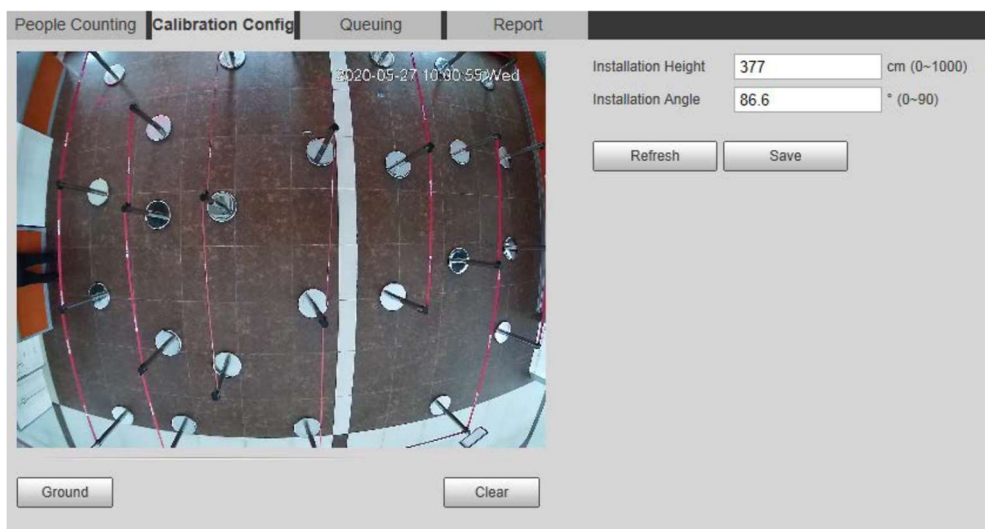
人数カウントールを設定した後、キャリブレーション設定でカメラの設置高さや角度を設定します。
※キャリブレーション設定をしないと著しく精度が落ちる場合があります。

前提条件

[Setting] > [Event] > [PeopleCounting] で、少なくとも1つのルールを設定している。

手順

Step1 [Setting] > [Event] > [PeopleCounting] > [CalibrationConfig] で設定します。



Step2 Clear をクリックすると、キャリブレーションボックスがデフォルトにクリアされます。

Step3 「Ground」をクリックして画像内に長方形を描きます。

Step4 「Save」をクリックすると、カメラは地面からの高さや地面との角度を計算します。

5.12.3 Queuing

検知エリア内の行列の人数をカウントする機能です。行列の人数が設定された人数を超えたり、行列の時間が設定された時間を超えた場合、アラーム作動します。

前提条件

[Setting] → [Event] → [Smartplan] を選択し、「PeopleCounting」を有効にします。

手順

Step1 Setting > Event > Queuing を選択します。

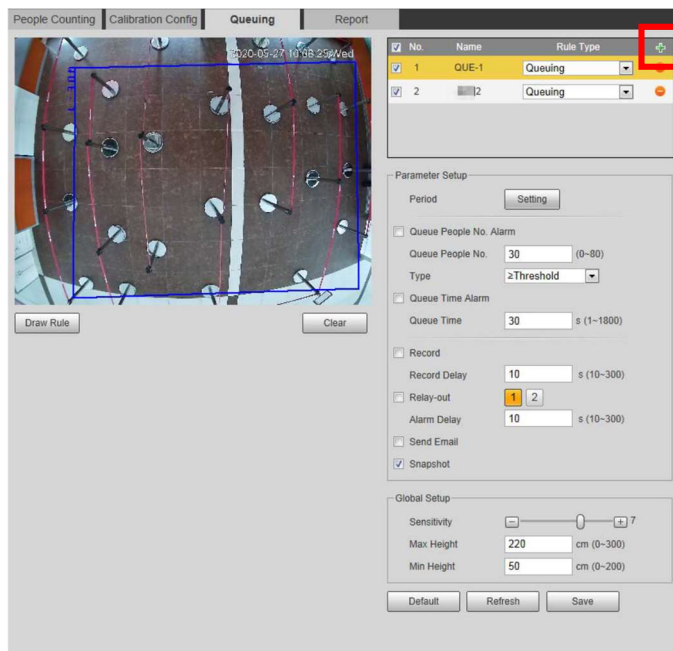
パラメータ

QueuePeople No.Alarm	行列人数と、カウント方法を設定します。行列数が設定した値に達するとアラームが作動します。
Queue Time Alarm	行列時間を設定します。行列時間が設定した値に達するとアラームが作動します。
Sensitivity	アラームが発生する感度を設定します。感度が高いほど、アラームが作動しやすくなります。
Max Height	検知エリアにいる人の最大身長を設定します。単位は cm、範囲は 0~300 です。
Min Height	検知エリアにいる人の最低身長を設定します。単位は cm、範囲は 0~200 です。

Step2 +をクリックして、Queuing 機能を追加します。
追加できるルールは最大で4つです。

step3 Name をダブルクリックして、任意のルール名に変更します。[DrawRule] をクリックして、検出エリアを指定し、右クリックして描画を完了します。

Step4 パラメータを設定します。



Step 5 期間とアラーム連動動作を設定します。

Step 6 「Save」をクリックします。

アラーム情報を [アラーム] タブで表示するには、該当するアラームイベントを登録します。



結果

Queuing の結果は、Live インターフェイスで見ることができます。

各ターゲット Queuing 番号と行列時間がインターフェイス上に表示されます。

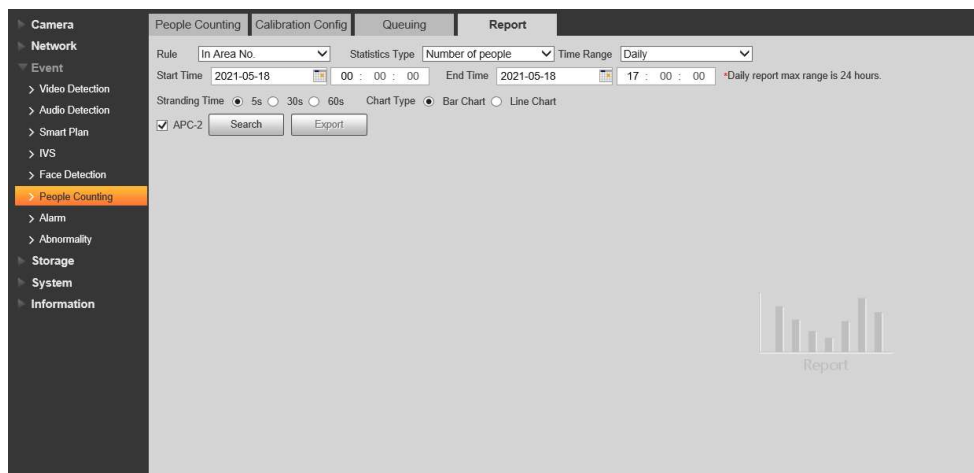


5.12.4 人数カウント Report の表示

設定されたルール条件で検索し、エクスポートすることができます。

この機能は、一部のカメラで利用できます。

ステップ1 「Setting」 → 「Event」 → 「PeopleCounting」 → 「Report」 を選択します。

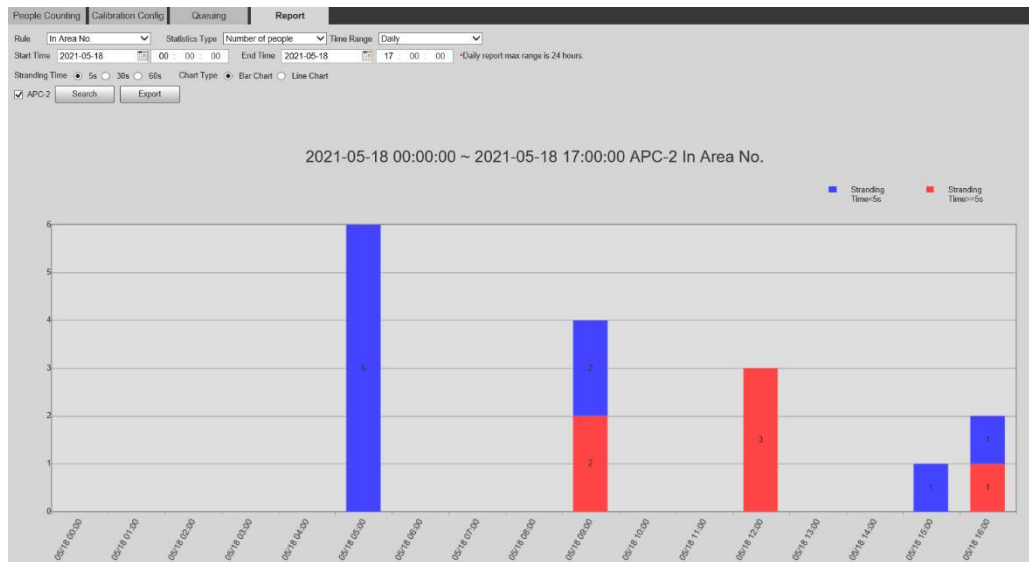


Step 2 「Enable」のチェックボックスを選択し、ダイアグラム機能を有効にします。設定した期間中の Report の検索ができます。

Step 3 検索条件を設定します。

表 5-18 検索条件の説明

Rule	レポートのルールを「In Area No」[PeopleCounting]「Queuing」から選択します。
Statistics Type	人数カウントレポートの統計タイプです。 [NumberOfPeople]を選択すると、設定した人数を超えた人数のレポートを作成します。 [AverageStrandTime]を選択すると、平均滞在時間のレポートが生成されます。
Time Range	レポートの期間を選択します。 日報、月報、年報を見ることができます。
Start Time End Time	開始時間と終了時間
FlowDirection	入退場の方向を選択することができます。[Enters][Exits][DisplayNo]を選択できます。 統計量がレポートに表示されます。
Stranding Time	滞在時間をカウントし、5秒、30秒、60秒を選択します。
Queue Time	Queuing の時間をカウントするには、1分、5分、10分を選択します。
Report Type (Bar Chart/Line Chart)	棒グラフ、折れ線グラフを含む。
Rule 1, Rule 2...	チェックボックスを選択すると、該当するルールのレポートを検索します。



Step 4 [Search] をクリックすると Report が表示されます。
 [Export] をクリックすると、Report を Export します。
 .bmp または .csv 形式でエクスポートします。